

平成19年度

当初予算の概要

島根県

# 平成19年度当初予算の概要

## 1. 平成19年度地方財政対策の概要

- 平成19年度の地方一般歳出は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」に沿って、人件費や地方単独事業など歳出全般について徹底した見直しが行われ、対前年度比▲1.1%に抑制された。
- その上で、安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源の総額の確保を図るため地方財政対策が講じられた結果、地方財政計画の規模は83兆1,300億円程度と前年度同水準となった。
- 地方一般財源の総額は前年度並みの水準が維持されたものの、地方交付税（臨時財政対策債を含む）については、地方税収の伸びに伴い、対前年度比▲5.2%と4年連続の減となった。

地方財政計画の規模	約83兆1,300億円(0.0%)
(歳入)	
地方一般財源	59兆2,300億円(0.9%)
うち地方交付税(含臨時財政対策債)	17兆8,300億円(▲5.2%)
(歳出)	
地方一般歳出	約65兆7,400億円(▲1.1%)

- また、公債費が依然高水準であることや社会保障関係経費の自然増などがある中で、経費全般の徹底した見直しや、地方税収の伸びにより、収支不足は大幅に改善されたものの、依然、4兆4,200億円程度の財源不足が生じる（平成8年度以降12年連続）こととなった。
- これについては、建設地方債（財源対策債）の増発と臨時財政対策債の発行等により、その全額を補てんすることとされた。

地方財源不足 44,200億円	
— 財源対策債	15,900億円
(建設地方債の増発)	
— 臨時財政対策債	26,300億円
(既往の臨時財政対策債の元利償還充当分等)	
— 特別交付金	2,000億円
(恒久的減税による減収を補てんする減税補てん特例交付金の廃止に伴う経過措置)	

## 2. 平成19年度当初予算の概要

### 《本県の財政状況》

- 本県財政は、県税等の自主財源に乏しく、地方交付税や国庫支出金等にその多くを依存せざるを得ない状況にあるが、加えて、長期にわたる景気低迷による県税の伸び悩みや、近年の地方交付税の大幅な削減などにより一般財源が大幅に減少している。
- また、遅れていた社会資本整備や県勢の発展に資する戦略的なプロジェクトの推進に、国の経済対策にも呼応し積極的に取り組んできた結果、本県の社会資本の整備水準は相当程度向上した一方で、これに伴う県債の残高が平成15年度末には1兆円を超え、この償還に係る公債費は、今後とも1,000億円程度の高水準で推移することが見込まれ、財政運営上の大きな圧迫要因となっている。
- このような状況を踏まえ、平成16年10月に「中期財政改革基本方針」を策定し、歳入歳出全般にわたるかつてない大胆な財政改革に取り組んできた結果、目標にしていた300億円程度の収支改善を達成できる見込みにあるが、一方で、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」で示された歳出改革の取組を踏まえると、昨年9月の段階では、現状の予算水準のままでは、中期的になお200億円台半ば（執行節減努力等決算段階での取組を行うと200億円程度）という多額の収支不足が続く厳しい状況が見込まれたところである。

### 《予算編成の基本的考え方》

- 平成19年度当初予算編成は、引き続き財政改革を強力に推進することとし、人件費総額の抑制や公共事業費をはじめとする各種事業費の削減、事務事業の抜本的な見直しなど、歳出全般にわたる見直しを行うこととした。
- 一方で、全体として財政規模を縮小する中であっても、縮み思考に陥ることなく、将来を見据えつつ、県全体として最も成果が上がるよう行政活動を展開していくために、「施策の選択と集中」をこれまで以上に徹底し、限られた財源の重点的かつ効率的な配分を行うとともに、平成18年度に引き続き社会情勢の変化に伴う緊急課題への的確な対応を行うこととした。
- また、平成19年度当初予算は、4月の知事選挙を控え骨格予算とすることとし、政策的な判断を今後委ねるべき事業については、6月補正予算で対応することとした。

### 《当初予算の概要》

#### (1) 行政の効率化・スリム化

- 人件費については、平成18年度までとしていた職員の給与カット（一般職6%～10%・諸手当に連動、特別職15%～20%・期末手当に連動）の継続や、職員定員の削減（H15～H24：△1,000人）などにより抑制を図った。

## (2) 事務事業の見直し・削減

○公共事業については、補助事業・単独事業を合わせて、マイナス20%のシーリング（県費負担額ベース）を行うこととし、公共事業の優先順位付けに基づき予算枠を傾斜配分した。

公共事業全体としては、平成18年7月豪雨災害に係る災害復旧費の増や単独事業から地方負担の少ない国庫補助事業へのシフトを図ったこと等もあり、事業費ベースで対前年度比10.9%の減となった。

○普通建設単独事業については、公共事業の減に加え、古代出雲歴史博物館整備事業の終了などにより、対前年度比で10.5%の減となった。

○施設の建設・整備については、県立学校や警察署の再編に係るものを除いて、新規の着工を極力抑制することに加え、再編関連の施設整備についても、事業内容の精査を行った。

各種の情報通信システム整備については、全体最適化の観点から見直しを行い、経費抑制を図った。

また、病院局・企業局への繰出し金の見直しなどを行った。

○一般施策経費については、マイナス7%のシーリング（一般財源ベース）を設定し、更に削減を図るとともに、行政評価における投入コストの方向性を踏まえ、徹底した見直しを図った。

※一般施策経費：ソフト面の施策を中心とした県事業や補助金で、各部局ごとに予算枠を配分しているもの

## (3) 財源の重点配分

○社会情勢の変化などに伴い、一両年中に緊急かつ集中的な対応が必要と考えられる課題に対処するために、平成18年度に創設した「緊急課題対応枠」については、引き続き重点的に予算措置した。

### 【緊急課題】

- ①緊急的な人材育成・確保対策
- ②緊急的な産業・雇用対策
- ③緊急的な安全・安心対策
- ④世界的な文化遺産、自然環境の保全・活用対策

## (4) 財源の確保

○税収については、三位一体改革の税源移譲と定率減税の廃止により個人県民税が大幅に増加したことと、法人関係税や地方消費税に若干の回復の兆しが見込まれることなどから、対前年度比16.5%の増となった。（税源移譲と定率減税廃止の影響を除いた額は、対前年度比1.7%の増）

○地方交付税(臨時財政対策債を含む)については、対前年度比0.4%の減と推計している。

普通交付税(臨時財政対策債を含む)は、全国総額では対前年度比5.2%の減となったが、本県の平成19年度交付額は、全国の減少幅より小さい、前年度算定比1.2%減の1,995億円と推計している。

この推計額は、昨年9月の中期財政見通しの見込み(2,049億円)よりも低いものとなっている。

この要因は、地方財政対策において、地方一般歳出の厳しい抑制が行われ、これが基準財政需要額の算定に反映されたことなどによるためである。

○その他の歳入では、貸付金特別会計の貸付枠や償還見込みの精査により、余剰見込み額を一般会計に繰り入れること等により財源の確保に努めた。

#### (5) 緊急避難措置

○収支不足の圧縮を図るため、平成19年5月に最終償還を迎える銀行等引受債19億14百万円の借換えと、地域再生債12億64百万円余の発行により、31億78百万円余の緊急避難措置を行った。

#### (当初予算の規模)

○予算編成方針に基づき、予算要求・査定を通じ全庁を挙げて収支不足の圧縮に向けた取組みを強力に推進した結果、**平成19年度当初予算の規模は5,107億円余となり、対前年度比2.4%減**と6年連続のマイナスとなった。

#### (財源不足への対応)

○この結果、**平成19年度の収支不足は、136億円程度**となる見通しとなった。

○この不足する財源については、減債基金の取崩しにより対応することとした。

○なお、今後の予算執行にあたっては、経費節減を徹底して行うことにより、更なる収支不足の圧縮に努めることとしている。

# 平成19年度国予算・地方財政計画と県予算との比較

(単位：国予算・地方財政計画は億円、県予算は百万円)

区 分		H18当初 (A)	H19当初 (B)	増 減 (B) - (A)	対前年度伸率 (B)/(A)		
国 の 予 算	入	1. 租税及び印紙収入	458,780	534,670	75,890	116.5%	
		2. 国債発行	299,730	254,320	▲ 45,410	84.8%	
		3. その他	38,350	40,098	1,748	104.6%	
		計	796,860	829,088	32,228	104.0%	
	出	1. 国債費	187,616	209,988	22,372	111.9%	
		2. 地方交付税交付金等	145,584	149,316	3,732	102.6%	
		3. 一般歳出	463,660	469,784	6,124	101.3%	
		計	796,860	829,088	32,228	104.0%	
		計(除地方交付税交付金等)	651,276	679,772	28,496	104.4%	
	地 方 財 政 計 画	入	1. 地方税	348,983	403,728	54,745	115.7%
2. 地方譲与税			37,324	7,091	▲ 30,233	19.0%	
3. 地方特例交付金			8,160	3,120	▲ 5,040	38.2%	
4. 地方交付税 " (含臨時財政対策債)			159,073 (188,145)	152,027 (178,327)	▲ 7,046 (▲ 9,818)	95.6% (94.8%)	
5. 地方債 " (除臨時財政対策債)			108,174 (79,102)	96,529 (70,229)	▲ 11,645 (▲ 8,873)	89.2% (88.8%)	
6. その他			169,794	約 168,805	▲ 989	99.4%	
		計	831,508	約 831,300	▲ 208	100.0%	
出		1. 給与関係経費	225,769	約 225,100	▲ 669	99.7%	
		2. 公債費	132,979	約 131,500	▲ 1,479	98.9%	
		3. 投資的経費 (うち単独事業)	168,889 (100,911)	約 152,400 (約 85,900)	▲ 16,489 (▲ 15,011)	90.2% (85.1%)	
		4. その他	303,871	約 322,300	18,429	106.1%	
		計	831,508	約 831,300	▲ 208	100.0%	
		計(除公債費)	698,529	約 699,800	1,271	100.2%	
県 の 予 算		入	1. 県 税 " (除H19税源移譲・定率減税廃止分)	59,605 (59,605)	69,411 (60,611)	9,806 (1,006)	116.5% (101.7%)
			2. 地方譲与税	15,944	3,110	▲ 12,834	19.5%
			3. 地方特例交付金	290	346	56	119.3%
	4. 地方交付税 " (含臨時財政対策債)		179,565 (201,620)	180,935 (200,845)	1,370 (▲ 775)	100.8% (99.6%)	
	5. 県 債 " (除臨時財政対策債)		71,241 (49,186)	64,299 (44,389)	▲ 6,942 (▲ 4,797)	90.3% (90.2%)	
	6. 国庫支出金		80,545	75,358	▲ 5,187	93.6%	
	7. その他		116,071	117,272	1,201	101.0%	
		計	523,261	510,731	▲ 12,530	97.6%	
	出	1. 給与関係経費	131,709	129,265	▲ 2,444	98.1%	
		2. 公債費	96,684	97,515	831	100.9%	
		3. 投資的経費 (うち単独事業)	126,279 (49,208)	113,364 (44,030)	▲ 12,915 (▲ 5,178)	89.8% (89.5%)	
		4. その他	168,589	170,587	1,998	101.2%	
		計	523,261	510,731	▲ 12,530	97.6%	
		計(除公債費)	426,577	413,216	▲ 13,361	96.9%	

※地方財政計画については、現時点の概数

# 平成19年度当初予算 科目別・目的別内訳一覧表 (一般会計)

(単位:千円)

区 分	H18当初	H19当初	増 減	対前年度比	構 成 比	
	(A)	(B)	(B)-(A)	(B/A)	H18 当初	H19 当初
<b>歳 入</b>						
1. 県 税	59,604,484	69,410,803	9,806,319	116.5%	11.4%	13.6%
" (除H19税源移譲・定率減税廃止分)	(59,604,484)	(60,610,583)	(1,006,099)	(101.7%)	(11.4%)	(11.9%)
2. 地方消費税清算金	14,879,048	14,436,684	▲ 442,364	97.0%	2.9%	2.8%
3. 地方譲与税	15,944,000	3,110,000	▲ 12,834,000	19.5%	3.0%	0.6%
4. 地方特例交付金	290,000	346,000	56,000	119.3%	0.1%	0.1%
5. 地方交付税	179,565,000	180,935,000	1,370,000	100.8%	34.3%	35.4%
" (含臨時財政対策債)	(201,620,000)	(200,845,000)	(▲ 775,000)	(99.6%)	(38.5%)	(39.3%)
6. 交通安全対策特別交付金	320,000	320,000	0	100.0%	0.1%	0.1%
7. 分担金及び負担金	4,360,128	3,366,666	▲ 993,462	77.2%	0.8%	0.7%
8. 使用料及び手数料	5,283,259	4,543,891	▲ 739,368	86.0%	1.0%	0.9%
9. 国庫支出金	80,545,102	75,357,984	▲ 5,187,118	93.6%	15.4%	14.7%
10. 財産収入	1,569,105	1,681,184	112,079	107.1%	0.3%	0.3%
11. 寄付金	0	0	0	—	0.0%	0.0%
12. 繰入金	17,825,047	21,485,133	3,660,086	120.5%	3.4%	4.2%
13. 繰越金	1,500,000	2,000,000	500,000	133.3%	0.3%	0.4%
14. 諸収入	70,334,609	69,438,900	▲ 895,709	98.7%	13.4%	13.6%
15. 県債	71,241,000	64,298,500	▲ 6,942,500	90.3%	13.6%	12.6%
" (除臨時財政対策債)	(49,186,000)	(44,388,500)	(▲ 4,797,500)	(90.2%)	(9.4%)	(8.7%)
<b>合 計</b>	<b>523,260,782</b>	<b>510,730,745</b>	<b>▲ 12,530,037</b>	<b>97.6%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>

<b>歳 出</b>						
1. 議会費	1,045,444	1,024,429	▲ 21,015	98.0%	0.2%	0.2%
2. 総務費	22,517,451	25,780,890	3,263,439	114.5%	4.3%	5.1%
3. 民生費	33,832,473	33,425,570	▲ 406,903	98.8%	6.5%	6.5%
4. 衛生費	20,852,489	21,386,561	534,072	102.6%	4.0%	4.2%
5. 労働費	1,860,543	1,762,569	▲ 97,974	94.7%	0.3%	0.3%
6. 農林水産業費	48,668,230	42,219,203	▲ 6,449,027	86.7%	9.3%	8.3%
7. 商工費	56,878,758	55,992,739	▲ 886,019	98.4%	10.9%	11.0%
8. 土木費	96,980,468	88,917,243	▲ 8,063,225	91.7%	18.5%	17.4%
9. 警察費	21,380,603	21,677,509	296,906	101.4%	4.1%	4.2%
10. 教育費	96,586,220	94,573,179	▲ 2,013,041	97.9%	18.5%	18.5%
11. 災害復旧費	6,811,748	8,575,362	1,763,614	125.9%	1.3%	1.7%
12. 公債費	96,741,590	97,590,477	848,887	100.9%	18.5%	19.1%
13. 諸支出金	19,004,765	17,705,014	▲ 1,299,751	93.2%	3.6%	3.5%
14. 予備費	100,000	100,000	0	100.0%	0.0%	0.0%
<b>合 計</b>	<b>523,260,782</b>	<b>510,730,745</b>	<b>▲ 12,530,037</b>	<b>97.6%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>

# 平成19年度当初予算 歳入内訳一覧表

## (一般会計)

(単位：千円)

区 分	H18当初	H19当初	増 減 (B)－(A)	対前年度比 (B/A)	構 成 比	
	(A)	(B)			H18 当初	H19 当初
<b>1. 自主財源</b>	175,355,680	186,363,261	11,007,581	106.3%	33.5%	36.5%
" (除基金繰入金)	(160,533,578)	(169,243,534)	(8,709,956)	(105.4%)	(30.7%)	(33.1%)
(1) 県 税	59,604,484	69,410,803	9,806,319	116.5%	11.4%	13.6%
" (除H19税源移譲・定率減税廃止分)	(59,604,484)	(60,610,583)	(1,006,099)	(101.7%)	(11.4%)	(11.9%)
(2) 地方消費税清算金	14,879,048	14,436,684	▲ 442,364	97.0%	2.9%	2.8%
(3) 分担金及び負担金	4,360,128	3,366,666	▲ 993,462	77.2%	0.8%	0.7%
(4) 使用料及び手数料	5,283,259	4,543,891	▲ 739,368	86.0%	1.0%	0.9%
(5) 財産収入	1,569,105	1,681,184	112,079	107.1%	0.3%	0.3%
(6) 寄付金	0	0	0	—	0.0%	0.0%
(7) 繰入金	17,825,047	21,485,133	3,660,086	120.5%	3.4%	4.2%
" (除基金繰入金)	(3,002,945)	(4,365,406)	(1,362,461)	(145.4%)	(0.6%)	(0.9%)
(8) 繰越金	1,500,000	2,000,000	500,000	133.3%	0.3%	0.4%
(9) 諸収入	70,334,609	69,438,900	▲ 895,709	98.7%	13.4%	13.6%
<b>2. 依存財源</b>	347,905,102	324,367,484	▲ 23,537,618	93.2%	66.5%	63.5%
(1) 地方譲与税	15,944,000	3,110,000	▲ 12,834,000	19.5%	3.0%	0.6%
(2) 地方特例交付金	290,000	346,000	56,000	119.3%	0.1%	0.1%
(3) 地方交付税	179,565,000	180,935,000	1,370,000	100.8%	34.3%	35.4%
" (含臨時財政対策債)	(201,620,000)	(200,845,000)	(▲ 775,000)	(99.6%)	(38.5%)	(39.3%)
(4) 交通安全対策特別交付金	320,000	320,000	0	100.0%	0.1%	0.1%
(5) 国庫支出金	80,545,102	75,357,984	▲ 5,187,118	93.6%	15.4%	14.7%
(6) 県 債	71,241,000	64,298,500	▲ 6,942,500	90.3%	13.6%	12.6%
" (除臨時財政対策債)	(49,186,000)	(44,388,500)	(▲ 4,797,500)	(90.2%)	(9.4%)	(8.7%)
<b>合 計</b>	523,260,782	510,730,745	▲ 12,530,037	97.6%	100.0%	100.0%



# 平成19年度当初予算 性質別経費内訳一覧表

## (一般会計)

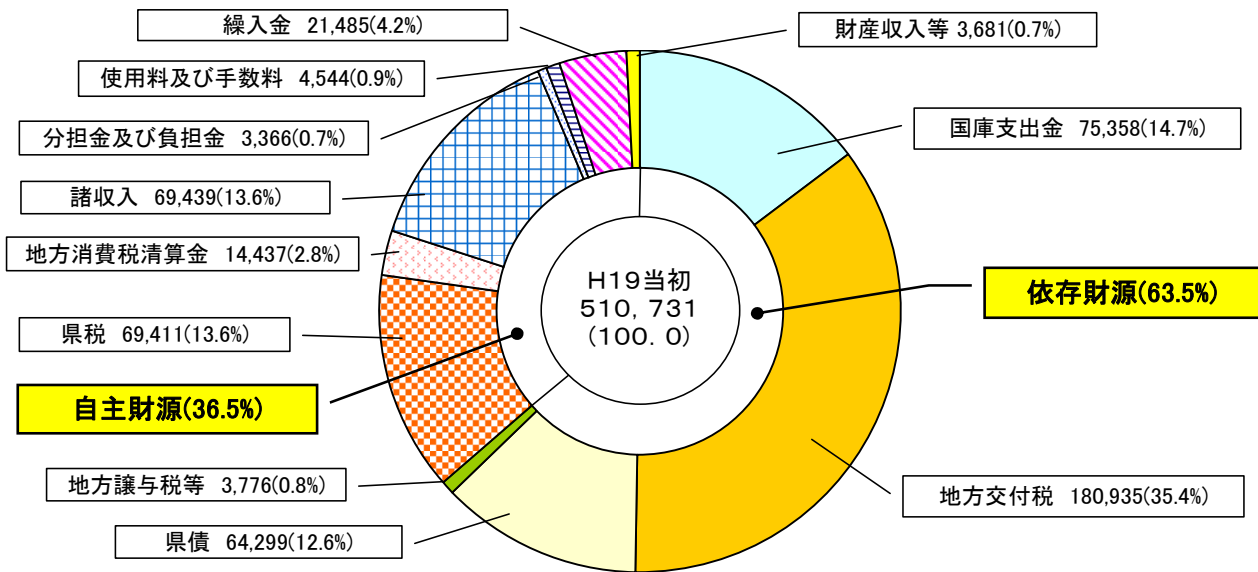
(単位：千円)

区 分	H18当初	H19当初	増 減 (B)－(A)	対前年度比 (B/A)	構 成 比	
	(A)	(B)			H18 当初	H19 当初
1. 義務的経費	257,073,741	256,621,143	▲ 452,598	99.8%	49.2%	50.2%
(1) 人件費	131,708,937	129,264,996	▲ 2,443,941	98.1%	25.2%	25.3%
" (除退職手当)	(122,284,980)	(117,698,421)	(▲ 4,586,559)	(96.2%)	(23.4%)	(23.0%)
(2) 公債費	96,683,986	97,514,582	830,596	100.9%	18.5%	19.1%
(3) 扶助費	28,680,818	29,841,565	1,160,747	104.0%	5.5%	5.8%
2. 普通建設事業費	119,792,072	105,094,888	▲ 14,697,184	87.7%	22.9%	20.6%
(1) 補助事業費	54,128,261	44,815,430	▲ 9,312,831	82.8%	10.3%	8.8%
(2) 単独事業費	49,128,152	43,949,948	▲ 5,178,204	89.5%	9.4%	8.6%
(3) 直轄事業負担金	14,476,379	14,331,510	▲ 144,869	99.0%	2.8%	2.8%
(4) 同級他団体事業負担金	24,000	15,000	▲ 9,000	62.5%	0.0%	0.0%
(5) 受託事業費	2,035,280	1,983,000	▲ 52,280	97.4%	0.4%	0.4%
3. 災害復旧事業費	6,486,943	8,268,559	1,781,616	127.5%	1.2%	1.6%
(1) 補助事業費	6,398,951	8,101,542	1,702,591	126.6%	1.2%	1.6%
(2) 単独事業費	80,000	80,000	0	100.0%	0.0%	0.0%
(3) 直轄事業負担金	7,992	87,017	79,025	1088.8%	0.0%	0.0%
(4) 受託事業費	0	0	0	—	0.0%	0.0%
4. 補助費等	52,842,543	54,511,193	1,668,650	103.2%	10.1%	10.7%
5. 貸付金	61,413,429	61,681,656	268,227	100.4%	11.7%	12.1%
6. その他	25,652,054	24,553,306	▲ 1,098,748	95.7%	4.9%	4.8%
合 計	523,260,782	510,730,745	▲ 12,530,037	97.6%	100.0%	100.0%

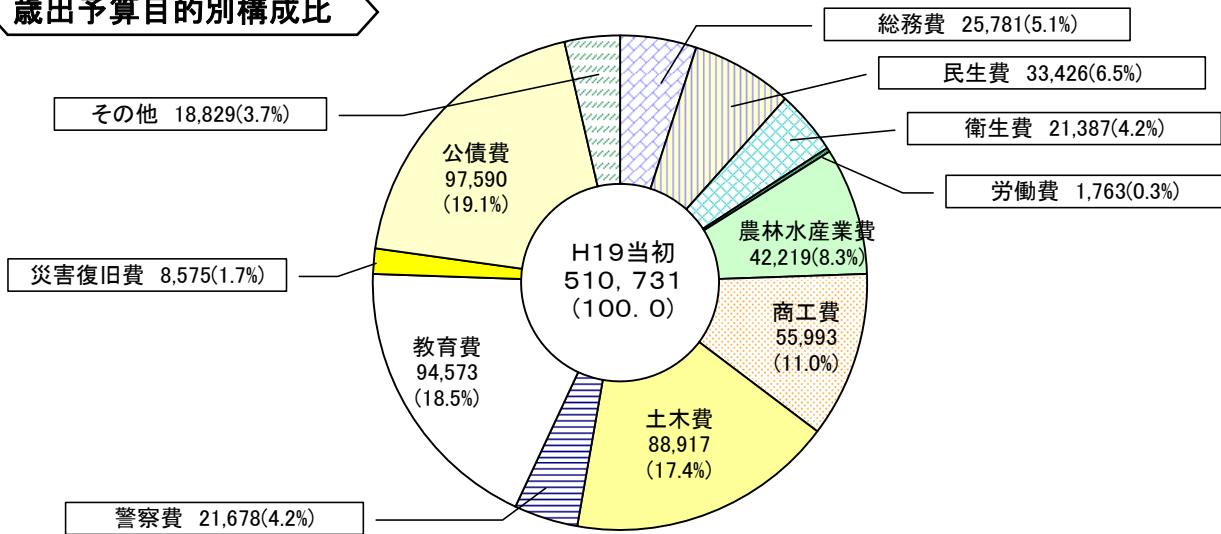
# 平成19年度当初予算 歳入・歳出構成内訳

## 歳入予算款別構成比

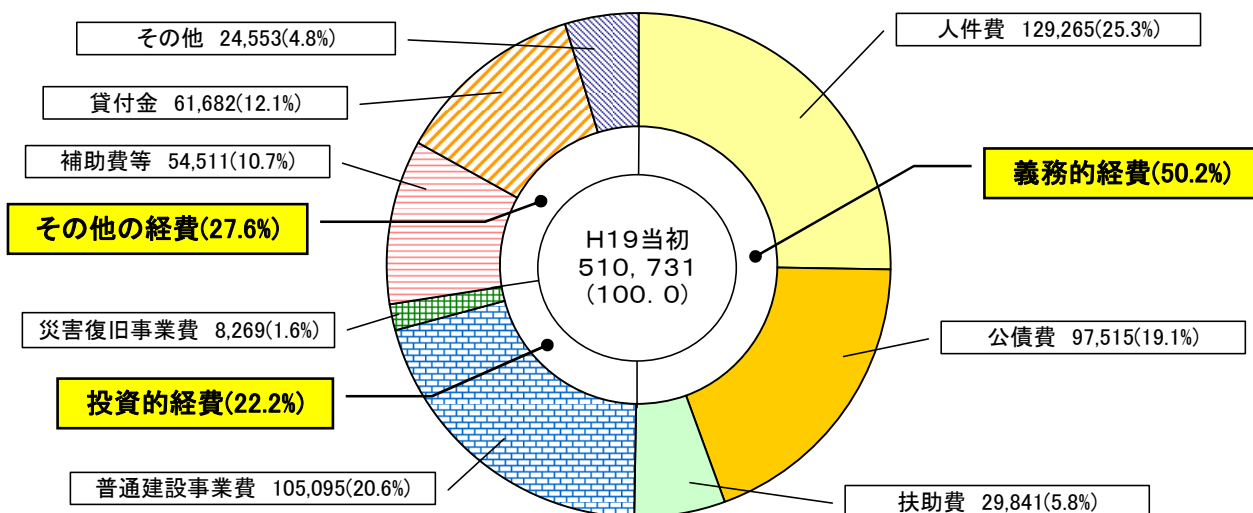
単位:百万円



## 歳出予算目的別構成比



## 歳出予算性質別構成比



## 使用料・手数料の改正等について

### 1. 使用料

(1) 県立3大学の地方独立行政法人化に伴うもの

県立3大学の授業料及び学生寮使用料の廃止（直接法人が収入）

(2) 授業料・受講料の改正

地方財政計画の改定に伴い、高等学校の授業料を改正。あわせて、類似施設の授業料も同額に改正

区 分		改正前	改正後
県立高等学校授業料・受講料	全日制、専攻科	年額115,200円	年額118,800円
	定時制	年額25,200円	年額28,800円
	通信制	2単位まで830円など	2単位まで860円など
農業大学校授業料		年額111,600円	年額118,800円
高等技術校授業料		年額111,600円	年額118,800円

※H19年度新入生から適用

(3) その他のもの

- ① 産業技術センターの開放機器使用料について、実態にあわせ、上限額を概ね20%引き上げ
- ② 青少年の家のパソコン室を廃止し、研修室とすることにあわせ、その使用料を改正
- ③ 県立体育館の電気得点板の更新に伴い、使用料の額を1日に付き2,300円から160円に引き下げ
- ④ 中山間地域研究センターの研修施設に17時以降の時間単価を設定し、冷房期間を短縮
- ⑤ 道路上に道路管理者以外の者が二輪車の駐輪場を設置する場合の道路占用料の設定
- ⑥ 浜山公園の少年野球コーナーを陸上競技に利用する場合の使用料の廃止

### 2. 手数料

(1) 県立3大学の地方独立行政法人化に伴うもの

県立3大学の入学料、入学検定手数料及び学位論文審査手数料の廃止（直接法人が収入）

(2) その他のもの

- ① 自動車運転免許の中型自動車免許の新設に伴う運転免許試験手数料の設定等
- ② 一部の建物における構造計算適合性判定の義務付けに伴い、同判定を受けるための手数料を設定
- ③ 一部の建物における建築確認の中間検査の義務付けに伴い、中間検査に係る手数料及び中間検査を受けた建物の完了検査にかかる手数料を設定
- ④ 産業技術センター分析等手数料について、実態にあわせ、上限額を概ね20%引き上げなど
- ⑤ 通訳案内士の登録に関する手数料の設定
- ⑥ 探偵業届出関係に関する手数料の設定
- ⑦ 県の試験研究機関の試験・分析等手数料の実績のないものの廃止や区分の見直し
- ⑧ 薬事法改正に伴う手数料の設定

### 3. 影響額

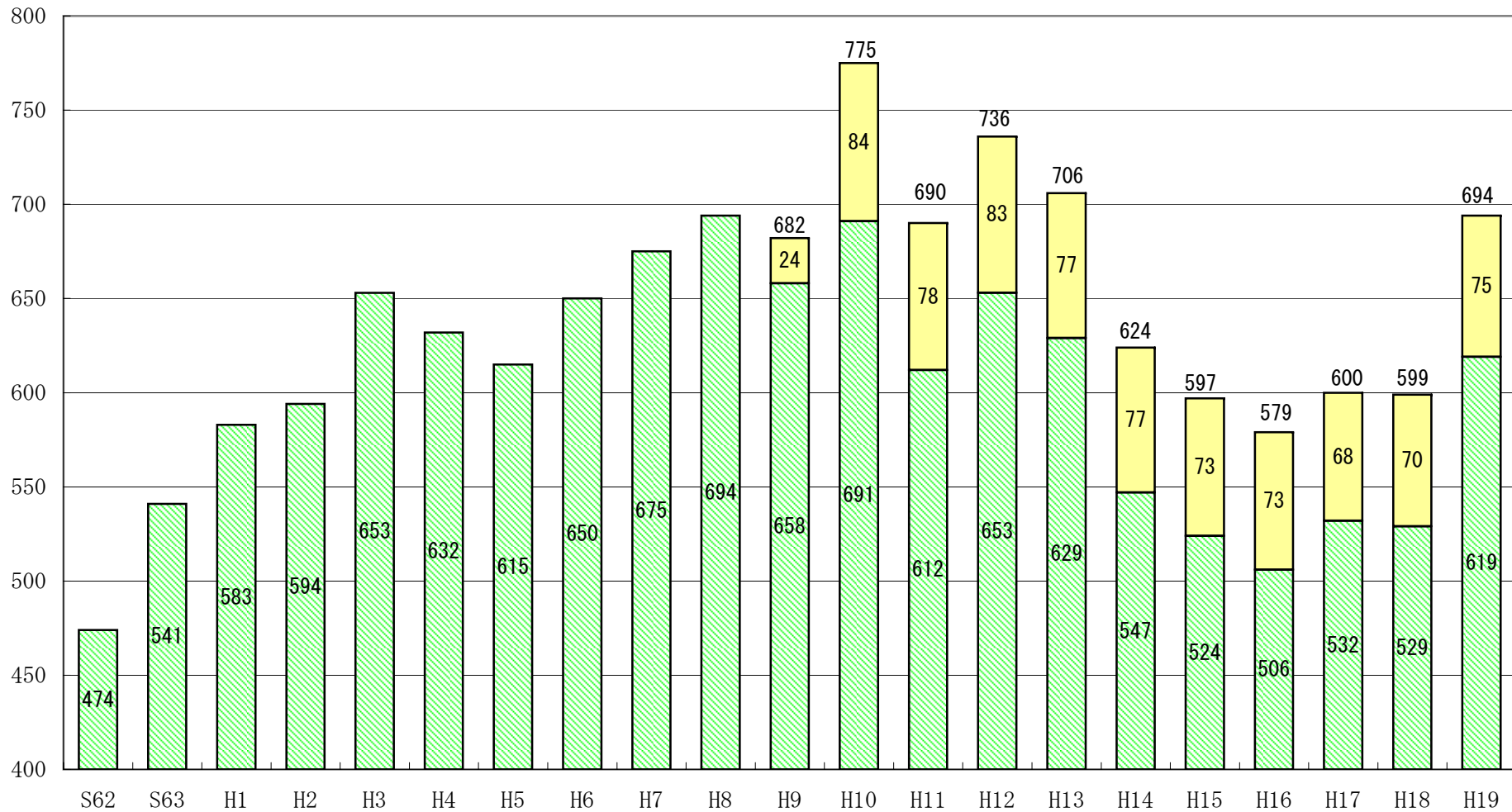
(単位:千円)

区分	大学関係 (a)	大学関係以外 (b)	合計 (a)+(b)
使用料	▲711,789	19,375	▲692,414
手数料	▲136,469	73,447	▲63,022
計	▲848,258	92,822	▲755,436

# 県税収入額の推移

決算額（億円）

■ その他 ■ 地方消費税

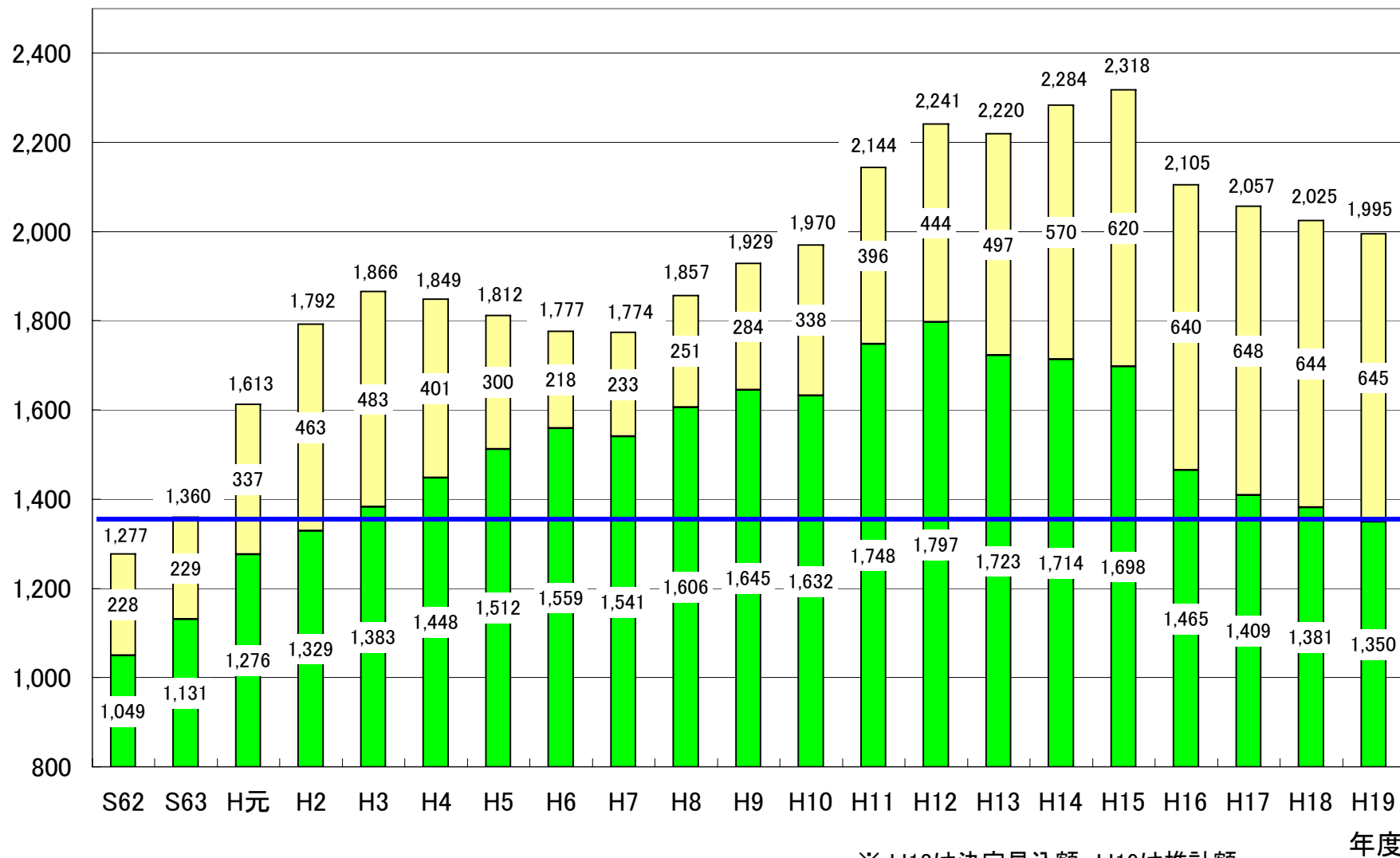


※H18は11月補正後額、H19は当初予算額  
 ※H19は税源移譲分約81.5億円、定率減税廃止分約6.5億円を含む

# 普通交付税額(臨財債含む)の推移

交付税額(億円)

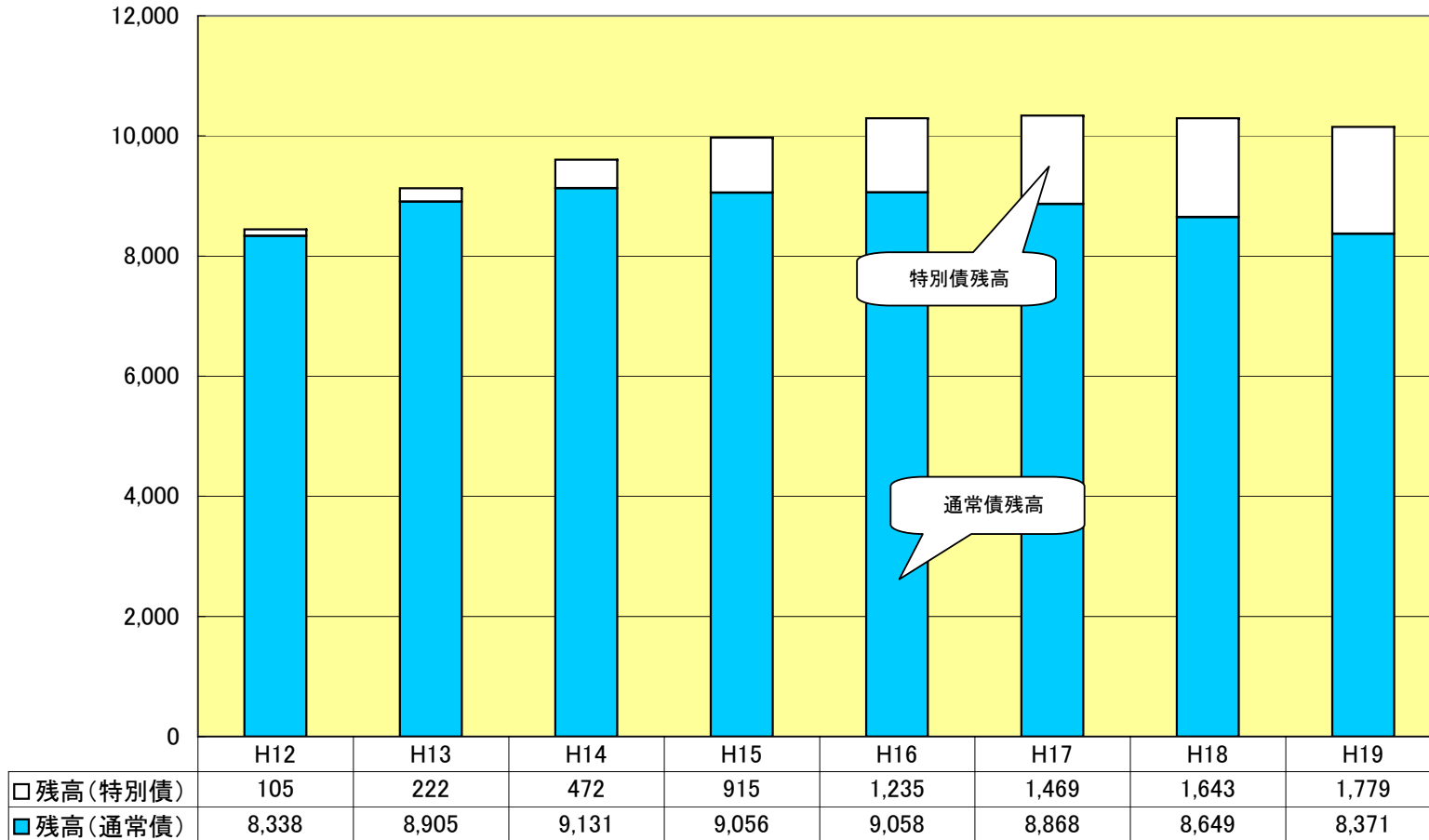
■自由に使える交付税 ■公債費・事業費補正



※ H18は決定見込額、H19は推計額

## 県債残高の推移 (一般会計ベース) H19当初

(単位: 億円)

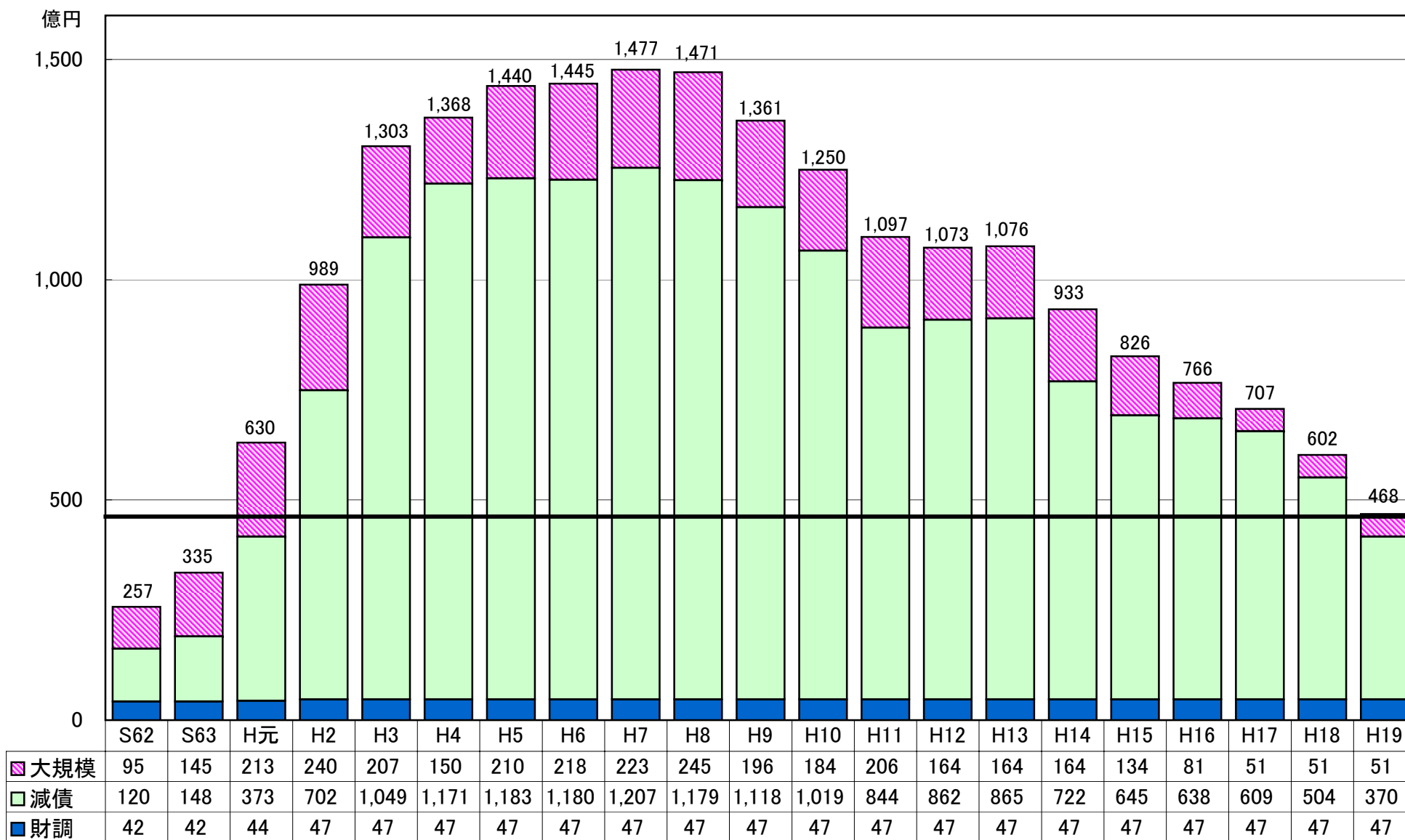


【ベース】 □NTT債を除く、借換債含む  
 □種別 ○特別債：臨時財政対策債、減税補てん債、  
 臨時税収補てん債

合計	10,337	10,292	10,150
----	--------	--------	--------

※H18以降は繰越等を見込んだ額

# 財政調整基金等の推移



※S62からH17年度までは決算額、H18年度は11月補正後予算額、H19年度は当初予算額  
 ※減債基金は、満期一括勘定分を除く